

昭和9年軍艦『日向』乗員一同

(撮影・横須賀写真館/「野坂光子家文書」)



同一員乗向日艦軍年九和昭

新横須賀市史 別編 軍事

B5判 915頁 価格(税込)4,000円

横須賀の「軍事」を事典的に収録

第12回配本

編集・発行 横須賀市

【「別編 軍事」の購入方法】

直接購入される方

横須賀市役所 本庁舎1階 市政情報コーナー・各行政センター・役所屋にて販売。

郵送でお求めの方

書籍の代金(現金)と送料(切手)を、現金書留で下記市政情報コーナー宛お送りください。

~~送料は1冊530円です。2冊以上または他の刊行物などと合わせて購入される方は~~

送料を市政情報コーナーへお問い合わせください。

※郵便番号・住所・氏名・電話番号・ご希望の書籍名・冊数を必ずご記入ください。

横須賀市役所 市政情報コーナー

〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町1-1番地 電話:046-822-8186

【書籍の内容についてのお問い合わせ】

横須賀市総務部総務課 市史編さん係

電話:046-822-8150 FAX:046-827-4741 E-mail:shishi-ga@city.yokosuka.kanagawa.jp

URL:<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/0210/shishi/shishi1-top.html>



新横須賀市史

別編 軍事

■横須賀製鉄所創設から戦後の自衛隊や米海軍まで、施設や組織・艦船・人物などを、写真・図版・表を多用し、項目ごとに解説。

■戦前から戦後の横須賀を写真で紹介。



田戸演習砲台 28センチ榴弾砲
(「鈴木課家文書」)

目次(抄)

【写真集Ⅰ 横須賀の戦前・戦中】
第一章 製鉄所から鎮守府造船所へ
解説—横須賀造船所

施設と制度
技術を担った人びと
建造艦船
第二章 横須賀鎮守府の設置
解説—鎮守府という組織
人物・歴代司令長官
人物・参謀長
鎮守府
鎮守府付属
教育機関
鎮守府とその周辺・人物
第三章 横須賀海軍工廠
解説—鎮守府造船部と海軍工廠
海軍工廠
建造艦
人物

【写真集Ⅱ 横須賀の今昔Ⅰ】

第四章 海軍航空と横須賀
解説—海軍航空と航空技術
横須賀海軍航空隊
人物・航空隊
海軍航空技術廠
航空機
エンジン・その他
人物・空技廠

第五章 横須賀の陸軍と東京湾要塞
解説—横須賀の陸軍
東京湾要塞
重砲兵
砲台
演習場・その他
憲兵隊・その他
人物

第六章 戦時三浦半島の防衛
解説—三浦半島と本土防衛
空襲
本土決戦準備
【写真集Ⅲ 横須賀の今昔Ⅱ】
第七章 横須賀の占領軍
解説—連合国軍の上陸
米海軍・海兵隊
米陸軍

報国-12 横須賀号
(「石井峰朗家文書」)



人物

復員引揚

第八章 防衛力の整備と自衛隊
解説—自衛隊の創設
海上自衛隊
陸上自衛隊
人物

第九章 アメリカ第七艦隊と横須賀
解説—新たな軍港都市横須賀
米海軍横須賀基地
人物

【写真集Ⅳ 横須賀の戦後】
付表

横須賀・浦賀建造艦船一覧
横須賀市内の慰霊碑・記念碑等
東海鎮守府・横須賀鎮守府 歴代長官一覧
横須賀海軍工廠 歴代工務長一覧
アメリカ第七艦隊歴代司令官一覧
付図

横須賀市内にあった終戦時の主な旧軍施設
事典として、読み物としてご利用下さい。

刊行計画(平成・年度)

年	書籍名	年	書籍名
15	資料編 古代・中世Ⅰ	23	通史編 近世
16	資料編 近世Ⅱ		資料編 近現代Ⅲ
17	資料編 近現代Ⅰ		通史編 自然・原始
19	資料編 古代・中世Ⅱ	24	別編 軍事
	資料編 近世Ⅰ		別編 民俗
20	資料編 近現代Ⅱ		通史編 近現代
21	別編 文化遺産	25	別編 年表
	別編 考古		



新横須賀市史刊行のお知らせ
新横須賀市史は、市制施行百周年を記念して刊行する、本市初めての本格的な市史です。今回刊行の「別編 軍事」は、第12回配本になります。そのほかに、毎年一回刊行の「市史研究横須賀」(創刊号・第11号)や、写真集なども刊行しています。